

事業所名

多機能型児童発達支援事業所 ポップランド

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

1日

法人(事業所)理念		<ul style="list-style-type: none"> ・ポップランドは、発達障がいの特性を基本的、専門的に理解した上で、障がいの有種別にとらわれず、子どもたち一人ひとりの人格と個性を尊重して心の拠り所となり、伸び伸びと自分らしく過ごせる空間を作ります。 ・子どもの躰きや課題の軽減、克服にのみアプローチするのではなく、子どもの育つ意欲を支え肯定し、当事者としての生き難さに共感して成長と発達を総合的に支援できるように個別支援計画を立てます。 ・子育てを頑張っているご家族の悩みや困りごとに寄り添いながら、発達の相対的な評価ではなく、子どもとしての発達を一緒に見つめながら親子関係を育み、親子が安心して生活できるように支援します。 ・子どもが地域社会に根付いて成長するためには、事業所もまた地域社会に根付き、学校や社会に繋げる役割があります。子どもと家族の支援が広がるようなネットワークを作り、生涯発達支援の理念で子どもたちの人生に寄り添い続けるように努めます。 						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、『落ち着きがない』『お友達と上手く関われない』『イライラのコントロールが難しい』『大きな集団は苦手』『できる事とできない事のバラつきが大きい』等、生きにくさを感じている子どもに、 ①小集団での「楽しさ」を支えとした成長や「自分らしさ」への気づきの支援 ②認められることによる自己肯定感など情緒面の支援 ③「見る・聞く・話す・想像する」等の認知への支援 ④身支度や排泄など生活動作の自立や就学前準備の支援(主に未就学児)を行います。 						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムや生活習慣の形成を促します。(手洗いうがい・排泄・着脱・睡眠など) ・健康状態を維持し、感覚過敏等で食べ物の「好き嫌い」や「食べ渋り」がある子どもへの食事支援を通して食習慣の形成を支援します。 						
	運動・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢と運動・動作の向上を図ります。(トランポリンや縄跳び、飛び石、平均台などを組み合わせたサーキットトレーニングで筋力・体幹・バランス感覚を養う) ・微細運動・粗大運動の向上を目指した活動を行います。(折り紙、工作、アイロンビーズ作りなどで指先の運動。戸外で公園の遊具、ボール遊び、縄跳び、雪遊び、ソリ滑りなどで全身運動) ・季節に応じた行事や制作活動を行います。 ・未就学児～就学に向けた準備を行います。(学習用具の準備と後片付け、運筆、読み書き、集団行動の中での模倣など、学習に取り組む姿勢の習得) ・学童児～宿題を中心に学習面でのつまづきを個別的に支援します。また、工作の機会の提供など、苦手な課題への取り組みを行います。 						
	情緒・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・痲癢やイライラの爆発、不安などの情緒面に寄り添った支援に重点を置き、衝動性や多動性、不注意などの行動特性の調整や感情のコントロールを身に付けられるよう支援します。 ・自分に合った余暇の過ごし方を見つけることで、学校などでのストレスや緊張が緩和し、親しい仲間と一緒に楽しく過ごしながら充実感を味わえるよう支援します。 ・グループでの遊びを通して、ルールを理解して順番を守るなど対人関係を学び、集団に参加する意欲や協調性を身に付けます。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の形成と活用～大人とのコミュニケーションや、友達との関わりを通して、自分の経験や考えている事を表現し、相手の言葉を聞こうとする意欲や態度を育みます。言葉に対する感覚や表現する力が備わるような関りを心掛けます。 ・見て聞いている環境を作り、意図的に口頭指示を聞いて行動する機会を設けるなど、小集団活動を通して言葉でのやりとりを楽しむ経験を積むことで、コミュニケーションの基本的能力の向上を支援します。 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団の中で、身近な人と親しみ、関りを深め、愛情や信頼関係を育み、仲間と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合えるような支援を心掛けます。 ・調理実習や子ども達だけで作り上げる遊びを通して、集団における役割を担い、他者との共同作業や仲間づくりの体験を提供します。 ・異年齢児と過ごす中で、年長児を模倣したり年少児に思いやりを示すなどする機会を体験し、対人関係のマナーの習得を支援するとともに、自己の理解と興味関心の広がり促します。 ・将来の自立を見据え、実際の商業施設や遊興施設、公共交通機関の利用を通して、社会生活を営む上で守らなければならない基準や決まり、約束事などを学び、道徳性を育てていけるよう働きかけます。 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの発達について情報交換し、共通認識をもって関わっていきます。 また、普段の療育の様子を個別に伝える事や、必要に応じて事業所内面談の機会をもつなど、保護者の心配や困りごとに丁寧に対応し、安心とゆとりをもって子育てができるように支援します。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、小学校への入園・入学準備を療育の中で取り組んでいくとともに、子どもの状態や保護者の意向、支援内容について、移行先の希望がある際は共有していきます。また、他事業所への移行希望がある際も同様に、必要に応じて情報共有を行っていきます。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する学校・幼稚園、相談支援事業者、医療機関、並行利用中の他事業所などの関連機関と情報交換を行い、対応方法を共有します。また、保護者からの希望など必要に応じて連携会議を行い、保護者のニーズに対応します。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への参加 ・事業所内研修の実施 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・外出行事(幼児・学童) ・お買い物体験 ・縁日 ・調理実習 ・お楽しみ会(冬休み) ・親子交流会 ・その他季節に応じた行事 							